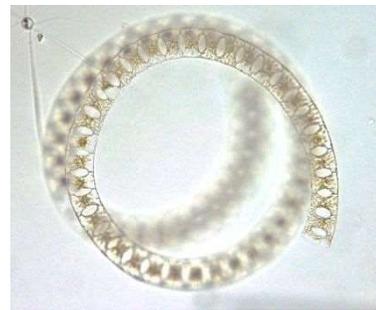


愛知県農林水産業の 試験研究基本計画2020 〔水産業部門〕

中間評価について



試験研究基本計画2020

期間:2016年(H28)~2020年(H32)

重点研究目標

ア 多様な生態系を育む内湾環境の創出

イ 水産資源の合理的な漁獲による持続的利用

ウ 環境変化に対応した増養殖技術による安定的な漁業生産の実現

エ 内水面水産資源の維持・増大と養殖技術の高度化

オ 愛知の強みを生かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

研究事項

- 内湾環境のモニタリングと情報発信及び予察による漁業被害軽減技術の開発
 - アサリ稚貝大量発生機構の解明及びアサリ稚貝発生場の造成技術の開発
- など 4研究事項

- 多獲性浮魚類の資源量予測の精度向上と資源管理手法の開発
 - 環境や生態を考慮した底生生物資源の資源管理手法の開発
 - 資源への影響を低減する小型底びき網の漁具及び曳網方法の開発
- など 6研究事項

- 藻場の再生技術の開発
 - アサリの安定生産技術の開発
 - 生態を考慮した栽培漁業技術の開発
- など 5研究事項

- ウナギ資源増大のための放流技術の開発
 - ウナギ人工種苗生産技術の開発
 - 再生産を考慮したアユ資源の維持・増大技術の開発
- など 6研究事項

- 産地の競争力を高めるノリ及びキンギョの品種開発

これまでの経緯と今後の予定

- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| 平成30年6月から9月 | 各研究グループ内において自己評価を実施 |
| 9月28日(金) | 水産専門分科会での検討、評価 |
| 10月19日(金) | 水産専門分科会での評価結果を踏まえた
中間評価資料の提出 |
| 11月20日(火) | 愛知県農林水産技術会議本会議で評価結果を
報告 |
| 平成31年2月中旬以降 | 中間評価結果をフィードバックし、次年度以降の
研究推進に反映 |

試験研究基本計画 中間評価

研究事項別の中間評価の結果について

研究事項(事項数22)のうち、計画どおり研究が進んでいるものは86%、概ね計画どおり研究が進んでいるものは5%、計画と比べやや研究が遅れているものは9%であった。

達成目標別の進捗度
(目標数:43)

計画に比べて

- s: 100%以上の進捗
- a: 50%以上～100%未満の進捗
- b: 40%以上～50%未満の進捗
- c: 10%以上～40%未満の進捗
- d: 10%未満の進捗

